

12月10日、町民文化大学教養講座がふるさと産業文化館で開かれ、弁護士丸山和也さんが「行列のできる楽しい法律講座」と題して講演しました。

丸山さんは「最近、人の生き方、考え方も多様化している、自分は当たり前と思っていることが、人を傷つけたり、プライバシーを侵すこともある。この講演を機に、一人ひとりが意識改革をしてもらえたらいいね」と話していました。



一人ひとりが意識改革を

明るい新年を迎えてもらうと、「しめ飾り教室」が12月24日、中央公民館で開かれました。

集まった参加者25人は、元講師6人から稲藁いなわらを使って縄なを編むことや、松やみかん、榊さかきなどの飾り付けを指導していただき、見事なしめ飾りを完成させていました。

参加者は「自分で願いを込めて一生懸命つくりましたから、きつとよい年が迎えられそう」と笑顔で答えていました。



しめ飾り作りに挑戦!

町交通対策協議会は12月19日、上江黒の県道麦倉川俣停車場線でシクラメンを配り交通安全の啓発を行いました。

午後3時から行われた啓発活動には女性ドライバークラブ・東小交通少年団・警察官等約30人が参加。町特産のシクラメン200鉢を配布。

子どもたちがシクラメンを手渡しながら「気を付けて運転してください」と呼び掛けると、先を急ぐドライバーも笑顔を見せ「ありがとう」と答えていました。



シクラメンで安全呼び掛け